

令和6年度

矢吹町まちづくり団体支援事業
募集要項

【募集期間】

(1次募集) 令和5年12月1日～2月29日
(2次募集) 令和6年3月1日～5月31日



矢吹町 まちづくり推進課
協働推進係

〒969-0296 矢吹町一本木101
役場1階(総合窓口課 奥)

【TEL】 0248-42-2112 【FAX】 024-42-2138
【Mail】 machizukuri@town.yabuki.fukushima.jp

目次

1	まちづくり団体支援事業とは	1 P
2	補助対象団体	1 P
3	補助対象事業	2 P
4	補助対象外事業	2 P
5	募集コース	3 P
6	補助対象経費	4 P
7	補助対象外経費	4 P
8	申請に必要な書類	5 P
9	審査及び審査基準	5 P
10	実績報告に必要な書類	6 P
11	補助金交付の流れ	6 P
12	申請書類（記入例）	7~9 P
13	実績報告書類（記入例）	10~14 P
14	Q&A	15 P

1 まちづくり団体支援事業とは

まちづくり団体支援事業とは、魅力あるまちづくりを目指して、町内で活動するまちづくり団体又は団体を作ろうとする方々が、自分たちでアイデアを出して企画する**公共性・公益性**の高い活動に要する経費を支援する制度です。

【例】

地域のお祭りの開催、景観整備・植樹、講演会の開催、ワークショップ開催、マルシェ開催、特産品の開発、音楽イベントの開催、水質・水生物調査、ガイドマップ作成、朝市開催 etc...

用語の説明

公共性：広く社会一般に利害・影響を持つ性質。特定の個人や組織に限られることなく、社会全体に開かれていること

公益性：特定の個人や組織のみではなく広く社会一般の利益に関するもの

2 補助対象団体

対象となる団体は次の要件をすべて満たす団体であり、自らの提案によりまちづくり事業を行うものになります。

- ① 町内に活動拠点を有する団体であること。
- ② 5人以上の会員で構成される団体（法人の構成員も含む）であること。ただし、町内在住者が会員総数の2分の1以上である団体に限る。
- ③ 組織の運営に関する規約等があること。

新しく団体を設立したばかり等の理由で、規約等がない場合は、まちづくり推進課へご相談ください。

3 補助対象事業

対象となる事業は、自由なテーマで提案するアイデア提案型協働事業とし、次の各号のいずれにも該当するものになります。

- ① 町の全域又は一部の地域、若しくは矢吹町をPRする目的で町外において実施する公共性、公益性又は社会貢献的な事業であって、事業を提案するまちづくり団体が取り組むことにより地域課題又は社会的課題の解決が図られること。
- ② 事業の実施により町民生活の満足度が高まり、具体的な効果及び成果が期待できること。
- ③ 先進性、先駆性等の工夫及びアイデアがあり、新しい取り組みであること。
- ④ 事業を提案するまちづくり団体が、事業を実施することが可能であること。
- ⑤ 事業を提案するまちづくり団体の自立性及び事業の継続性を有すること。
- ⑥ 団体の事業計画、予算等が適正であること。

4 補助対象外事業

- ① 特定の個人又は団体のみが利益を受ける事業
- ② 他の助成制度に基づき、補助を受けている事業
- ③ 政治活動、宗教活動及び営利活動を目的とする事業
- ④ 法令に違反する事業
- ⑤ その他町長が適当でないと認める事業

5 募集コース

▶スタートアップ支援コース

地域課題の解決に向けた活動を始めて間もない、又は始めようとする団体が町に対し自ら取り組む事業への支援を提案するもの

補助金額上限	5万円
補助率	補助対象経費の10/10
同一事業最大補助回数	2回
審査方法	書類審査

▶まちづくり実践コース

町民等が地域課題の解決のために提案するもの

補助金額上限	1年目 30万円 2年目 28万円 3年目 25万円
補助率	補助対象経費の9/10
同一事業最大補助回数	3回
審査方法	書類審査及び審査会でのヒアリング

用語の説明

同一事業最大補助回数：同一事業につき、補助を受けることができる回数です。3回補助を受けた後に新たな事業で補助を受けることも可能です。

6 補助対象経費

対象経費は、「**補助対象事業の実施に直接必要な経費**」となります。

【例】

- ・ 広報費（チラシ作成、広告掲載料など）
- ・ 外部講師謝礼金（2万円以内）
※交通費を含むものですが、県外等遠方の場合は対象外です。
- ・ 機材等の借上料
- ・ 会場施設使用料
- ・ 消耗品費（2万円以内）

7 補助対象外経費

- ① 人件費
- ② 団体運営に必要とされる経費（電話、ファックス、インターネットに関する通信料、事務機器等に関する使用料及び会議又は親睦に要する経費）
- ③ 物品購入費
- ④ 宿泊を伴う研修費
- ⑤ 食糧費
- ⑥ 交通費
- ⑦ 消耗品費（消耗品費の総額が2万円を超えないものを除く。）
- ⑧ その他町長が適当でないと認める経費

8 申請に必要な書類

- ① まちづくり団体支援事業企画提案書兼補助金申請書（第1号様式）
- ② 事業計画書（第2号様式）
- ③ 収支予算書（第3号様式）
- ④ 事業提案団体の運営に関する規約等
- ⑤ 事業提案団体の会員名簿
- ⑥ その他町長が必要と認める書類

9 審査及び審査基準

書類審査：申請時提出いただいた書類を審査します。

ヒアリング審査：3名の審査員と面談での審査となります。

※まちづくり実践コースのみ

公共性 公益性	<ol style="list-style-type: none">① その事業が特定の個人・団体等のみが利益を受けていないか。② 政治活動、宗教活動及び営利活動を目的としていないか。③ 広く町民に開かれ、町民の利益増進に繋がるなど公共性・公益性の高い事業か。
先進性 独創性	<ol style="list-style-type: none">① 従来の地域活動とは違った視点や形態など、新規性や工夫・アイデアがあるか。② 実施手法に工夫はなされているか。
現実性	<ol style="list-style-type: none">① 事業計画や予算の内容が精査され、かつ事業効果が期待できるなどの内容になっているか。② 実施体制が整っており無理のない事業構成か。
自立性	<ol style="list-style-type: none">① まちづくり団体補助金以外にも資金確保に努めているか。② 将来的に自ら実施していける事業か。
波及性	<ol style="list-style-type: none">① 提案事業は町が行うまちづくりにも効果があるか。② 普及性があるか。
継続性	<ol style="list-style-type: none">① 事業を発展させようとする意欲や工夫があるか。② 将来、継続的に行われるか。

10 実績報告に必要な書類

- ① 補助金交付請求書（第4号様式）
- ② 補助事業実績報告書（第5号様式）
- ③ 補助事業収支決算報告書（第6号様式）
- ④ 事業実績書（第7号様式）
- ⑤ 収支清算書（第8号様式）
- ⑥ その他町長が必要と認めるもの

11 補助金交付の流れ



12 申請書類（記入例）

まちづくり団体支援事業企画提案書兼補助金申請書（第1号様式）

第1号様式（第6条関係）

まちづくり活動団体支援事業企画提案書兼補助金申請書

令和3年 2月 1日

矢吹町長 様

住 所 矢吹町一本木101

団 体 名 まちづくり団体

代表者名 矢吹 太郎 ま
ち
づ
く
り 印

該当する申請区分に○をつけてください。

提案事業名	フリーマーケット事業	事業何年目か御記入ください。	(2 年目)
申請区分 (丸で囲む)	1 スタートアップ支援コース	2 まちづくり実践コース	
実施体制 (丸で囲む)	1 団体単独による開催	2 他団体等との共催()	
事業実施期	令和 4 年 7 月 1 日 から 令和 4 年 1 月 31 日まで		
提案の趣旨	(事業の目的、解決しようとしている課題等) まちなか活性化を目的に、町内のみならず町外からもまちなかに人が来てもらえるようにするために、月一でフリーマーケットを開催し、まちなかを活性化するための一役を担うため。		
事業内容	大池公園にて、毎月第3日曜日に販売するフリーマーケット。販売する方は会員登録していただき、登録申請していただければどなたでも販売できるようにします。 期間は7月～12月の6ヶ月間		
事業実施における具体的目標	(公共性、公益性又は社会貢献性を踏まえた数値目標、状態目標) 昨年は、平均300人の来場があったので、今年はさらに広報に力を入れ、来場者数が平均500～600人を目標としている。また、出店数も現在20店舗前後なので、多種多様になるよう平均25店舗を目指し、広報していく。		
補助交付申請額	金 280,000 円		
事業に要す経費	事業費総額	500,000 円	1 定額
	補助対象事業費	477,200 円	2 定率 %
	補助対象外事業費	22,800 円	3 その他 %
添付書類	1 事業計画書 2 収支予算書 3 団体規約	4 団体名簿 5	要綱を理解したうえで補助対象事業費と対象外事業費を御記入ください。

実施体制のいずれかに○をつけて下さい。共催の場合は団体名等を御記入ください。

終了日は、報告書を提出することができる日をお願いします。(遅くとも3月10日まで)

具体的かつ、1年間で達成できる目標を御記入ください。

12 申請書類（記入例）

事業計画書（第2号様式）

事業計画書		
月	内 容	備 考
4月		
5月		
6月	のぼり旗等の発注	
7月	18日フリーマーケット	
8月	15日フリーマーケット	
9月	19日フリーマーケット	
10月	17日フリーマーケット	
11月	21日フリーマーケット	
12月	19日フリーマーケット	
1月	実績報告書提出	
2月	令和4年度まちづくり団体支援事業申請予定	
3月		

12 申請書類（記入例）

収支予算書（第3号様式）

収 支 予 算 書				
収 入				
	区 分	予算額	前年度 実績額	内 訳
自己 資金 等	出店料	120,000	108,000	1,000円@/回×20店舗×6ヶ月
	自己負担金	100,000	102,000	
補助金申請額		280,000	300,000	
収入合計		500,000	410,000	
支 出				
	区 分	予算額	前年度 実績額	内 訳
補 助 対 象 経 費	会場設営費	177,200	172,800	警備員経費 20,000円×6回=120,000円 道路使用許可申請手数料 2,200円×6回=13,200円 道路使用許可申請手数料 2,200円×20店=44,000円
	広告宣伝費	300,000	210,000	チラシ作成依頼料 10円×5,000円×6回
補 助 対 象 外 経 費	補助対象 経費計	477,200	382,800	
	通信連絡費	12,800	17,200	
支 出 合 計	食糧費	10,000	10,000	
	補助対象外 経費計	22,800	27,200	
支出合計		500,000	410,000	
添付書類				

会費や寄付金等の各種類ごとに御記入ください。

収入合計と支出合計が一致していることを確認してください。

算出根拠を御記入ください。

要綱を理解したうえで補助対象経費と対象外経費を御記入ください。

収入合計と支出合計が一致していることを確認してください。

13 実績報告書類（記入例）

補助事業実績報告書（第5号様式）

第5号様式（第8条関係）

令和 5年 1月31日

矢吹町長 ○○ ○○ 様

住所又は
所在地 矢吹町一本木101

団体名及び まちづくり団体

代表者名 矢吹 太郎



補 助 事 業 実 績 報 告 書

令和4年度において、矢吹町まちづくり団体支援事業を完了したので下記のとおり報告します。

記

事業名	フリーマーケット事業										
補助金額				¥	2	8	0	0	0		
事業に要した経費	補助事業費総額				510,000	円	1. 定額				
	上内記の訳	補助対象事業費				482,200	円	2. 定率			
		補助対象外事業費				27,800	円	3. その他			
実施した事業の概要	大池公園にて、毎月第3日曜日フリーマーケットを開催しました。矢吹産の野菜等も販売し、町内外から訪れた方に矢吹町のPRも行うことが出来ました。また、来場者数は700人を超え、目標を達成することもできました。										
事業実施期間	令和4年7月1日 ~ 令和5年1月31日										
事業場所	大池公園										
添付書類	①. 事業実績書 ②. 収支精算書 ③. 領収書 ④. 写真										

要綱を理解したうえで補助対象事業費と対象外事業費を御記入ください。

事業終了日から2ヶ月以内に実績報告書を提出してください。

13 実績報告書類（記入例）

事業実績書

事業実績書				
（令和5. 1 . 31 現在）				
提案事業名 （申請事業名）	負 担 区 分			総事業費
事業種目 （ 項 目 ）	町補助金（A）	その他（B）	（A+B）（C）	左の経費算出基礎
	円	円	円	
	280,000	230,000	510,000	
	自己負担金、寄付金等の合計金額を御記入ください。			
合 計	280,000	230,000	510,000	
総事業費の内訳	補 助 対 象 事 業 費		482,200	要綱を理解したうえで補助対象事業費と対象外事業費を御記入ください。
	補 助 対 象 外 事 業 費		27,800	
添付書類	領収書			

13 実績報告書類（記入例）

補助事業収支決算報告書

第11号様式2

令和5年1月31日

矢吹町長 ○○ ○○ 様

住所又は
所在地 矢吹町一本木101

団体名及び まちづくり団体

代表者名 矢吹 太郎



補助事業収支決算報告書

下記事業の収支決算を、別紙のとおり報告します。

記

補助事業名	フリーマーケット事業
-------	------------

13 実績報告書類（記入例）

収支決算書（収入）

収 支 決 算 書

1 収 入

区 分	本年度 予算額 (A)	本年度 決算額 (B)	比 較		備 考
			差 額 (A) - (B)	伸 び 率 C/B	
	円	円	円	%	
出店料	120,000	120,000	0	0	
自己負担金	100,000	110,000	-10000	-0.1	
合 計	220,000	230,000	-10000	-0.05	

13 実績報告書類（記入例）

収支決算書（支出）

2 支 出

区 分	本年度 予算額 (A)	前年度 決算額 (B)	比 較		備 考
			差 額 (A-B) (C)	伸び率 C/B	
	円	円	円	%	
会場設営費	177,200	182,200	△ 5,000	△ 0.03	
広告宣伝費	300,000	300,000	0	0.00	
通信連絡費	12,800	17,800	△ 5,000	△ 0.29	
食糧費	10,000	10,000	0	0.00	
合 計	500,000	510,000	△ 10,000	△ 0.02	
計の内訳					
補助対象事業費	477,200	482,200	△ 5,000	△ 0.02	
補助対象外事業費	22,800	27,800	△ 5,000	△ 0.18	

要綱を理解したうえで
補助対象事業費と対象
外事業費を御記入く
ださい。

※決算書にあっては、前年度決算額を本年度決算額と読み替える

Q : 新たに団体を立ち上げて申請することはできますか？

A : 補助対象団体の要件を満たしていれば、新たに作られた団体でも申請することは可能です。団体規約作成の相談もお受けいたします。

Q : 同団体が「スタートアップ支援コース」と「まちづくり実践コース」の2つを申請してもよろしいでしょうか。

A : 年内に2つのコースを同団体が申請することはできません。

Q : 1年に複数の事業で補助金申請を行うことはできますか？

A : 補助金の申請は1年につき各団体一事業のみとなっております。

Q : 交付決定後に事業内容を変更することはできますか？

A : 事業の内容又は事業に要する経費の配分の変更（10分の2以上）をしようとする場合は、補助事業計画変更承認申請書を提出していただきます。詳しくはまちづくり推進課に御相談ください。

Q : 交付決定前に実施する事業活動に係る経費は対象となりますか？

A : 交付決定日以前に実施した事業活動で要した経費は対象にはなりません。

Q : 予算以上に経費がかかってしまった場合、補助金は増額してもらえますか？

A : 予算上限は決まっているため、増額はできません。